

子どもからだところろを育み、
笑顔を決世代へと紡ぐ事業

NPO法人ほっとはあと

事業の目的

- 赤ちゃんをあやすことから始まる親子の愛着形成とその後の社会性の発達を、体感覚や感覚統合を中心に体験し、子どもとのあそびの本質に気づき、子どもの笑顔を維持する育見技術の習得と同時に、地域のそここりに育見モデルを見ることが出来る、虐待予防及び、次世代育成に寄与する事業

現状の認識と課題

育児モデルを見ることなく育つ



赤ちゃんを笑顔にしたい



赤ちゃんの笑顔を維持する術
(あやし方) が解らない



どうしていいのかわからない
孤軍奮闘 (気づかない虐待)



実施内容



① 原始反射からの感覚統合を基礎とした、 子どもの発達とあそびの講座（1回/年）

『子どもの発達に必要な環境って？～くう・ねる・あそぶ～』

9月6日 参加： 親子26組・子育て関係者23名 計49名
講師 女性と子どものためのサロンOhana 助産師 平山小百子 先生



②心の基礎、体感覚を育てる

ワークショップ・交流会（3回/年）

10月15日 11月5日 11月22日 参加:37名



③遊びは心の栄養体験（感覚統合体験）

ワークショップ・交流会（3回/年）

10月21日

11月12日

11月29日

参加： 34名



このワークショップを今後も広げて頂くために

講師：地域子育て支援拠点 子育て応援こっこ

親プロファシリテーター

ママたちの頑張ろう宣言



④愛着形成を育むための体感覚あそび講座

(1回/年)

『「健やかなからだ」と「豊かな心」』

12月2日 参加： 親子45組

講師：Cosmosコンディショニングトレーナー 福本智恵子 先生



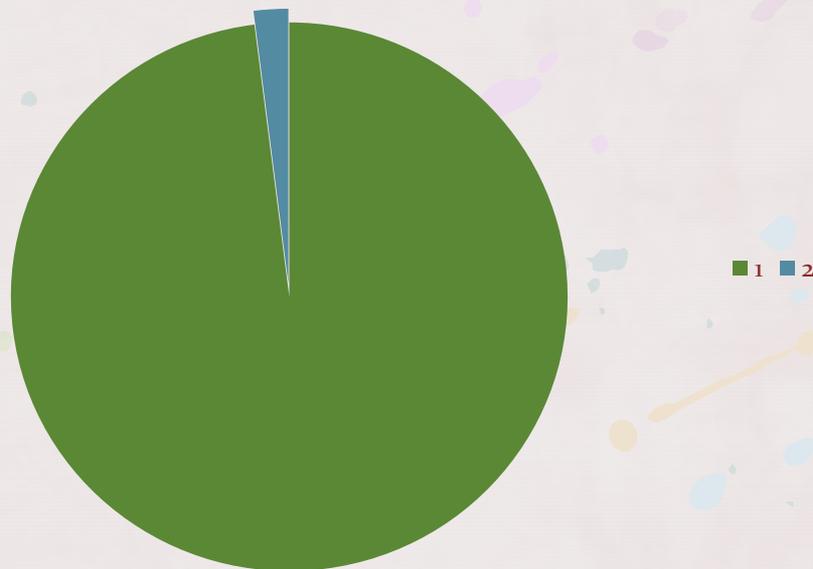
原始反射はすべての発達のナビゲーター、
では大きくなったら手遅れなのか。

その疑問に答える講座

体感覚は、愛着形成の基礎、体感覚を親子で楽しく取り戻す講座

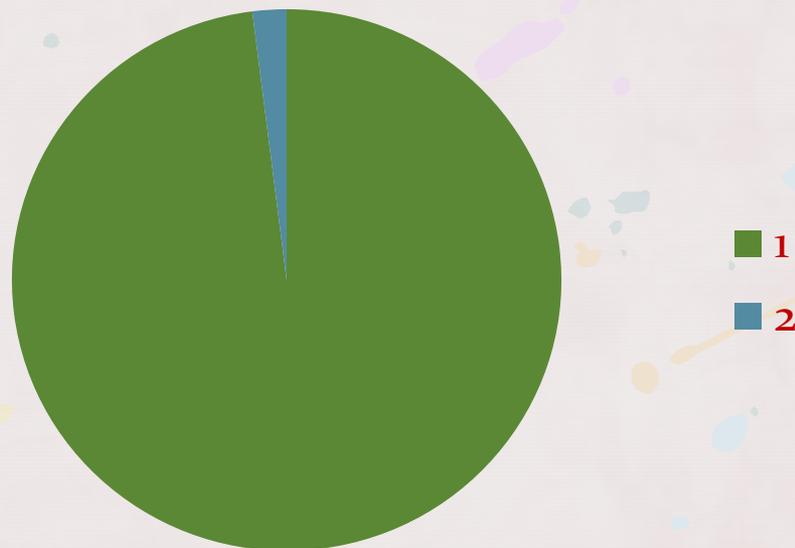
多くのママたちの行列の質問

どうしてできないの？と子どもも叱っていた



98%の保護者が今の年齢では
難しいことに気づいた

危ないから、出来るだけ何もしないで欲しい



98% (2%はもともとと思っていた)の
保護者が見守っていきたいと回答

- ・ 身体感覚が、愛着形成に大きく関わっていることに気づけた・・・100%
- ・ 汚い、危ないと思っていたことが実はとても大切と感じた・・・98%

なぜ、私を困らせる⇒大切な行動

100%の保護者が変容

※子どもが嫌いだったが、今は愛おしい

同窓会

目的：感動の風化を防ぎ、継続を促す

コロナウイルスの関係で、中止

アンケートの実施・・・88%回答率

子どもの感覚が大切

親子の関わりが大切。見守る。

気持ちを継続中・・・45%

薄れていたと感じていたが、思い出しました。

・・・55%

子育て支援者・・・拠点事業で継続的に
プチワークを実施してくださっている。
(現在はコロナで休止中)



ご協力

こども課

こども夢づくり課

人権まちづくり課

広報と講座への参加 ご相談

問題を抱えるママのフォロー 等

岡山県立大学

ボランティアのお声掛け 等

ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。